

研究シーズ

岩手医科大学

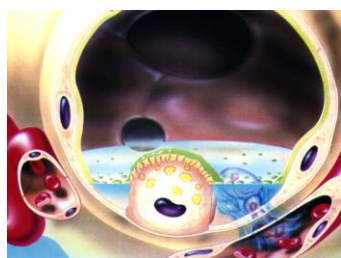
シーズ名	肺胞 II 型上皮細胞における肺サーファクタント分泌調整に関する研究	分類：9
所属 / 職 / 氏名	医学部 臨床検査医学講座 / 教授 / 諏訪部 章	
キーワード	肺サーファクタント、肺胞 II 型細胞、肺損傷、分泌	

どんな技術？

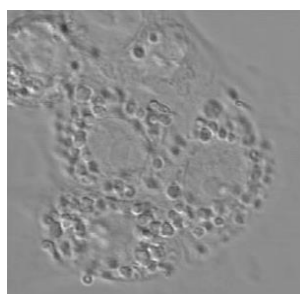
一言アピール

ラット肺から肺胞 II 型細胞を単離し、研究している施設は世界でも数少なく、国内では当講座が唯一といっても過言ではなく、全国からたくさんの研究者がその手技を学びに来ています。

急性呼吸促迫症候群（ARDS）の死亡率は 50%前後の難治性疾患であり、その発症には、肺サーファクタントの量的また機能的異常が指摘されています。肺サーファクタントは肺胞 II 型上皮細胞から合成・分泌されるため、この過程を解明することが病態解明と治療への応用につながります。我々は、肺胞 II 型上皮細胞の単離、肺サーファクタントの分泌調整を研究し、ARDS の発症メカニズムならびに治療への応用を研究しています。



ARDS の発症メカニズム



肺胞 II 型上皮細胞(ラット)

何に使えるの？

ARDS では肺サーファクタントの機能異常が指摘されており、正常な肺サーファクタント分泌を増加させるか、人工肺サーファクタントを投与するか、が治療手段として期待されています。我々の研究は、肺サーファクタントの分泌調整を研究することで、治療的な戦略を視野に入れていきます。

関連特許

なし

関連資料等

日本肺サーファクタント・界面医学会
<http://rods777.ddo.jp/~s002/kaimen.htm>